

K-POPエンタテイメント科

K-POPビジネスコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	38	38	必修	講義	○	76
	デビュー・就職実務Ⅰ	93		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		20	必修	講義		-
	PC実習	45		必修	実習		-
	選択授業	38	38	必修	講義		-
	異文化研究	22		必修	講義		-
	イベント制作実習A	134	110	必修	実習	○	244
	イベント制作実習B	301	305	必修	実習	○	606
専門科目	韓国語Ⅰ	76		必修	講義		-
	韓国語Ⅱ		76	必修	講義		-
	ビジネス韓国語Ⅰ	38		必修	講義		-
	ビジネス韓国語Ⅱ		38	必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅰ	19		必修	講義		-
	ネイティブ韓国語Ⅱ		19	必修	講義		-
	TOPIKⅠ検定対策	38		必修	講義		-
	TOPIKⅡ検定対策		38	必修	講義		-
	ライブマーケティングⅠ	38		必修	講義	○	38
	ライブマーケティングⅡ		38	必修	講義	○	38
	簡易PA実習	38		必修	実習	○	38
	動画配信基礎		38	必修	実習	○	38
	デザイン実習Ⅰ	38		必修	講義	○	38
	デザイン実習Ⅱ		38	必修	講義	○	38
合計	総授業時間数	956					
合計	総授業時間数		851				合計
	卒業時最少時間		1807				1154

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼びし、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	<p>課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2019年度例) エイベックス・エンタテインメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、oricon ME、株式会社エイスリー等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×	
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	93	時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース	

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>				
------	--	--	--	--	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	田中 史歩・永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。 また、学生主体の自主イベントの企画制作も行いプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:「マンドラートシート」の作成 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。「マンドラートシート」の作成
2	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。志望動機編 書き出しとフィードバック 就職志望:「マンドラートシート」フィードバック
3	アーティスト志望:履歴書の効果的な書き方。自己PR編 書き出しとフィードバック 就職志望:①【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
4	アーティスト志望:プロフィール制作方法的の講義。 就職志望:②【自己PRとは】テーマ:自分の見つめなおしと認知。書き出しとフィードバック
5	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 校内イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:①【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
6	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【夢を志望動機に】志望動機の書き出しとフィードバック。
7	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
8	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【失敗と振り返り】失敗の原因を振り返り、プラスにする力を学習する。「自己失敗例の書き出し」とフィードバック
9	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:①活動状況報告と個別フィードバック
10	アーティスト志望:校外イベント制作に向けての動機付け・リーダー決め・イベント内容決め。 就職志望:【面接対策(印象)】
11	アーティスト志望:企画会議を行い、内容を考える。スタッフ人選決定 就職志望:【レピュテーション(評価)・リスクマネジメント】
12	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:【自己世代を知る】Z世代、ミレニアル世代とされる自身の職場に置かれるポジショニング
13	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②活動報告と個別フィードバック
14	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(社内編)
15	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:②【コミュニケーション対策】社会人としてのコミュニケーション(クライアント・ユーザー編)
16	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:③活動報告と個別フィードバック
17	アーティスト志望:企画制作/練習/チェック 就職志望:①【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。世の中に目を向ける
18	アーティスト志望:企画制作/ゲネプロ 就職志望:②【世論・情勢・経済を読む】新聞記事等を参考にグループワーク。発表とフィードバック
19	アーティスト志望:最終チェック/本番 就職志望:Ⅱ【目標設定と計画、自覚】「マンドラートシート」の返却と振り返り。

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説により深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知らせてもらう。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	<p>※各科目によって異なる</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	22 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	134 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	110 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	<p>作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	301 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	山本 雄太(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	305 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「SUGA DANCE INNOVATION」 等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 I		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/金寶英		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	76 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>ハンゲルの仕組み、基本発音を学び、基本的な日常会話までできる事を目指す。 また、基本的な日常会話で使われる文法を理解する。「最新チャレンジ韓国語」を使用し、後期後半から進度に合わせて「ちょこっとチャレンジ」を使用する。 特別講義では、韓国文化やK-POPにまつわる講義を実施、言葉だけではなく、楽しみながら韓国を理解できるようにする。 検定前には検定対策を実施。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンス及びレベル分けテスト(全体で)
2	第1課 ハンゲルの仕組み/基本母音と合成母音
3	第2課 基本子音(平音、激音、濃音の基本)
4	第3課 合成母音
5	第4課 基本パッチム/発音の変化
6	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文
7	特別授業(予定)
8	第5課 私は～です 名詞の肯定文、否定文、疑問文
9	第6課 時間がありますか?有無をあらわす表現 物・家族
10	第6課 時間がありますか?有無をあらわす表現 物・家族
11	第7課 それは何ですか? これ、それ、あれ、だれの表現
12	特別授業(予定)
13	第7課 それは何ですか? 質問して答える
14	第8課 日曜日は何をしますか? うちとけた「です・ます」体
15	第8課 日曜日は何をしますか? 数字の表現
16	第9課 何が好きですか?自分の好みやしたい事を表現する
17	第9課 何が好きですか?自分の好みやしたい事を表現する
18	特別授業(予定)
19	これまでに学んだ文法、語彙を使用して文章を作成し、発表する(レポートにして提出)
20	第10課 週末に何をしましたか? 自分のした事を表現する(過去形)
21	第10課 週末に何をしましたか? 自分のしたい事を表現する(願望)
22	特別授業(予定)
23	第11課 明日は何をするつもりですか? 予定や推測の表現
24	第11課 明日は何をするつもりですか? 買い物をする時の表現、語彙
25	第12課 スープが冷たくておいしいです 自分の気持ちを表現する
26	特別授業(予定)
27	第12課 スープが冷たくておいしいです 様々な表現方法/形容詞
28	第13課 一度遊びに来てください 相手の意思をたずねたり、誘ってみる
29	第13課 一度遊びに来てください 可能・不可能の表現
30	TOPIK検定対策授業 過去問
31	TOPIK検定対策授業 過去問
32	特別授業(予定)
33	第1課(ちょこっとチャレンジ)お名前は何かとおっしゃいますか?インタビューをする
34	第2課(ちょこっとチャレンジ)朝子といいますが、日本から来ました。自己紹介をする
35	第3課(ちょこっとチャレンジ)魚は焼かないでください。決まりを言う。
36	第3課(ちょこっとチャレンジ)魚は焼かないでください。手紙を読む、書く。
37	特別授業(予定)
38	これまでに学んだ文法、語彙を使用して文章を作成し、発表する(レポートにして提出)

教科書等	<p>最新チャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子著/白水社) ちょこっとチャレンジ韓国語(金順玉、阪堂千津子、崔榮美著/白水社)</p>
成績評価	<p>出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	小林美奈子/平川真由美/金寶英		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	76 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>1年次から引き続き延世韓国語を使用し、基礎的な文法を理解し、必須の語彙を習得する。日常的な場面で、自然に韓国語で会話できるようになる事を目指す。延世韓国語1-2を使用するが、進度に応じて2-1に進んでもよい事とする</p> <p>特別講義では、韓国文化やK-POPにまつわる講義を実施、言葉だけではなく、楽しみながら韓国を理解できるようにする。</p> <p>検定前には検定対策を実施。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語授業ガイダンスおよびレベル分けテスト(全体で)
2	1年に習った内容の復習
3	第6課 01 買い物に行く
4	第6課 02 物の質と大きさを話す
5	第6課 03 値段を聞く
6	第6課 04 値段を値切る
7	特別授業(予定)
8	第6課 05 第6課まとめ 買い物場面を想定し、グループで会話を楽しむ
9	第7課 01 位置、道を聞く
10	第7課 02 交通の便とかかる時間を聞く
11	第7課 03 交通手段を利用する
12	特別授業(予定)
13	第7課 04 タクシーを利用する
14	第7課 05 第7課まとめ ○○～□□までの交通手段を説明してみる。
15	第8課 01 電話番号を話す
16	第8課 02 電話をかける
17	第8課 03 電話で約束をする
18	特別授業(予定)
19	評価週 これまで学んだ文法・語彙を使用して文章を作成し発表する
20	第8課 04 電話で相手をかかわってもらう
21	第8課 05 第8課まとめ ペアで電話で約束をしてみる
22	特別授業(予定)
23	第9課 01 季節について話す
24	第9課 02 今日の天気について話す
25	第9課 03 天気を比べる
26	特別授業(予定)
27	第9課 04 季節にあった余暇生活
28	第9課 05 第9課まとめ 季節についてグループで話してみる
29	第10課 01 計画を話す
30	TOPIK検定対策授業 過去問
31	TOPIK検定対策授業 過去問
32	特別授業(予定)
33	第10課 02 趣味について話す 1
34	第10課 03 趣味について話す 2
35	第10課 04 週末にする事について話す
36	第10課 05 第10課まとめ 趣味についてグループで話し合う
37	特別授業(予定)
38	評価週 これまで学んだ文法・語彙を使用して文章を作成し発表する

教科書等	延世韓国語1-2 延世韓国語活用練習1-2 進度に応じて延世韓国語2-1、延世韓国語活用練習2-1(プリント配布)
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 I			実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	38	時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース	

授業概要	<p>簡単な格式体の表現からビジネス表現、ハンゲルを用いてのPC入力、メールの書き方まで、韓国語を使う業界に必要なビジネス韓国語を学んでいく。韓国語でのメールのやり取りに必要とされる「丁寧でありながらも硬すぎない表現」を学習する。この授業の目標は、韓国語を使用する大学や職場などで要求される韓国語表現と韓国でのコミュニケーションスキルの基本を身につけることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①ハンゲルの生成原理と覚え方を説明する。日本語と韓国語の発音の違いと、気をつける発音を勉強する。 ②韓国語のキーボードの入力方法を覚え、子音と母音の配置を確認しながら、PC入力の基本を学ぶ。
2	①メールでの挨拶(先生宛)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
3	①メールでの挨拶(先輩宛)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
4	①メールでの紹介(先生宛)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
5	①メールでの紹介(部長宛)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
6	①メールでの約束(先生宛)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
7	①メールでの約束(部活の件)の表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
8	①メールで何かお願いするとき(推薦書)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
9	①メールで何かお願いするとき(アンケート)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
10	①メールで問い合わせするとき(受講の件)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
11	①メールで問い合わせするとき(奨学金)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
12	①メールで謝るとき使う(無断欠席)表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
13	①メールで謝るとき使う(先輩宛)表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
14	①メールで何か提案するとき(会社内)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
15	①メールで何か提案するとき(先輩宛)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
16	①メールで承諾・拒絶するとき(プロジェクト)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
17	①メールで承諾・拒絶するとき(アルバイト)使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
18	①メールで議論・問題提起するとき使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。
19	①メールで再要請・案内・招待するとき使う表現を勉強する。 ②PCを使い、韓国語のタイピングを練習する。

教科書等	「쉽게따라쓰는한국어이메일」を教科書として使用する。必要に応じてプリントと音声ファイルを配布する。
成績評価	課題レポート提出・小テスト50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ビジネス韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>この講義では様々なビジネス場面で使われる会話の表現を学ぶ。今まで学習した韓国語の語彙と文法を活用した各場面でのビジネス会話の練習をすることによってより自然で韓国らしい会話力とビジネスに必要な業務スキルを身につけることを目標とする。そのために、ペアワークやロールプレイなどの活動を多用しながら、授業を進める。さらに、用意された韓国大学文化や韓国社会の資料を元に、フリートーキングやディスカッションなども行い、韓国に対する関心を高めていく。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 レベルチェック
2	SNSでの韓国語 ①SNSでの書き言葉 ②SNSでの会話表現
3	韓国大学・大学生 ①韓国大学の紹介 ②韓国大学生の学校生活
4	韓国大学生の就職準備 ①韓国大学生の就職活動 ②韓国と日本の就職活動の比較
5	履歴書作成 ①履歴書の書き方 ②作成した内容発表
6	面接の準備 ①韓国での面接時の注意事項 ②模擬面接試験
7	営業業務 - ① ①メールの書き方 ②会社の紹介
8	営業業務 - ② ①名刺の交換時の注意事項 ②模擬名刺交換
9	営業業務 - ③ ①会社及び製品紹介 ②価格交渉
10	営業業務 - ④ ①契約時の注意事項 ②クレームの解決
11	ニュースで韓国語 ①ニュースでの表現 ②ニュースのイントネーションと読みトレーニング
12	電話業務 - ① ①電話を掛ける ②電話に出る
13	電話業務 - ② ①電話でスケジュールを調整 ②不在中の応答
14	お客様対応 - ① ①お迎えと見送り ②移動中の会話
15	お客様対応 - ② ①食事の対応 ②観光とショッピング案内
16	プレゼンテーション用語 ①背景と目的の説明 ②本論・考察と結論
17	プレゼンテーション実演 - ① 日本の就職活動に関するプレゼンテーション準備
18	プレゼンテーション実演 - ② 韓国語で発表
19	プレゼンテーション実演 - ③ 韓国語で発表

教科書等	指定の教材なし。必要に応じて講師でプリント準備、配布して使用
成績評価	課題レポート提出60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 I	実務授業の有無	×
担当講師	黄 仁祚	講義実施時期	前期・後期
		必修	必修
対象学年	1 年	総授業時間	19 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科	対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	この講義では韓国語の発音と抑揚、そして韓国文化について学ぶ。韓国語で自己紹介と挨拶などの簡単な会話と韓国語を表記するアルファベットであるハングルの発音と抑揚の習得を目標とする。そのために、グループやペアワークなどの活動を多用しながら授業を進める。さらに韓国の音楽やドラマ、そして文化を紹介し、韓国に対する理解を高める。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明 ①ハングルの起源と構造/日本語との比較 ②ミニ会話(自己紹介)
2	基本母音の発音トレーニング ①오/으と우/우の発音の区別 ②ミニ会話(タクシーに乗る)
3	平音発音・抑揚トレーニング ①単語の最初の平音(ㅏ ㅓ ㅗ ㅛ)の抑揚 ②基本母音と子音の組み合わせの読み練習と有声音化
4	激音の発音・抑揚トレーニング ①平音と激音の発音の区別 ②単語の最初の激音(ㅋ ㅌ ㅍ ㅊ)の抑揚
5	濃音の発音・抑揚トレーニング ①平音と激音と濃音の発音の区別 ②単語の最初の濃音(ㅁ ㅂ ㅅ ㅆ)の抑揚
6	合成母音発音・抑揚トレーニング ①合成母音の発音練習/「ㄹ」発音の区別 ②合成母音と子音の組み合わせの読み
7	パッチムの発音トレーニング ①パッチム「ㄱ ㅋ ㆁ」と「ㅇ ㄹ ㄴ」の発音の区別とその関係 ②パッチムの読み
8	日本語の韓国語表記 ①日本語の韓国語表記の必要性 ②自分の名前と日本の都市名のハングル練習
9	連音化のトレーニングとリスニング ①連音化の定義 ②連音化の読みと書き取り
10	濃音化のトレーニングとリスニング ①濃音化の定義 ②濃音化の読みと書き取り
11	激音化のトレーニングとリスニング ①激音化の定義 ②激音化の読みと書き取り
12	弱音化のトレーニングとリスニング ①弱音化の定義 ②弱音化の読みと書き取り
13	鼻音化のトレーニングとリスニング ①鼻音化の定義 ②鼻音化の読みと書き取り
14	ㄴ 挿入化のトレーニングとリスニング ①ㄴ 挿入化の定義 ②ㄴ 挿入化の読みと書き取り
15	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①単語と文章の高さと長さ ②ミニ会話(食堂に行く)
16	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①文末のイントネーション ②ミニ会話(ショッピングする - ①)
17	リズムとイントネーションの読みトレーニング ①文章の意味のまとめ ②ミニ会話(ショッピングする - ②)
18	童話のリーディング(羊飼いとオオカミ) - ① ペアで読み練習
19	童話のリーディング(羊飼いとオオカミ) - ② ペアで発表

教科書等	指定の教材なし。必要に応じて講師でプリント準備、配布して使用
成績評価	課題レポート提出60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ネイティブ韓国語 II		実務授業の有無	×
担当講師	金 寶英		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPEビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	韓国語の発音と抑揚トレーニングの教材を使い発音の練習をする
------	-------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	韓国語の子音を練習
2	韓国語の母音を練習
3	平音、激音、濃音の違い①
4	平音、激音、濃音の違い②
5	平音、激音、濃音の違い③
6	連音化の練習
7	パッチムの練習①
8	パッチムの練習②
9	前期習った内容のおさらい
10	前期を振り返る
11	イントネーションの変化①
12	イントネーションの変化②
13	イントネーションの変化③
14	韓国語の発音法則のまとめ①
15	韓国語の発音法則のまとめ②
16	KPOPの歌詞で発音の変化を覚える①
17	KPOPの歌詞で発音の変化を覚える②
18	発音変化のまとめ
19	後期習った内容のおさらい

教科書等	韓国語の発音と抑揚トレーニング 毎回小テスト
成績評価	出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK I 検定対策		実務授業の有無	×
担当講師	小林 美奈子		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	<p>K-POP科においては、韓国語の習得は必須であり、韓国をフィールドとしてデビュー、就職するためには、世界共通の韓国語能力の証明となるTOPIKを保有する事が大きな武器となる。その為、韓国語学習初心者にはTOPIK I について基本情報を理解させ、まず、TOPIK I (1級～2級)合格に必要な聞き取り力と読み取り力を身に付け、合格する為の語彙力を習得する。語彙力については、通常の文法授業で学習する語彙の他、検定対策用の語彙までを学ぶ。過去問を解きながら、出やすい単語をピックアップし都度覚えるようにしていく。今年度受験終了後はTOPIK I 振り返りとTOPIK II へ向けた準備の学習を進める</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	TOPIK 受験ガイダンス・受験級確認 TOPIK I 韓国教育財団HP確認 試験の概要と合格ラインを理解させる
2	読み取り 試験傾向(1) 初級単語確認
3	読み取り 試験傾向(2) 初級単語確認
4	読み取り 試験傾向(3) 初級単語テスト
5	聞き取り 試験傾向(1) 初級単語確認
6	聞き取り 試験傾向(2) 初級単語確認
7	聞き取り 試験傾向(3) 初級単語テスト
8	過去問実施
9	過去問 解説
10	初級単語確認およびテスト
11	過去問実施
12	過去問 解説
13	過去問実施
14	過去問実施
15	TOPIK I 検定振り返り 読み取り試験についての対策
16	TOPIK I 検定振り返り 書き取り試験についての対策
17	TOPIK II 受験準備講座
18	TOPIK II 受験準備講座

教科書等	<p>韓国語能力試験TOPIK I (初級)完全対策 韓国語能力試験TOPIK1, 2級 初級単語800</p>
成績評価	<p>出席40%、授業態度30%、達成度30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	TOPIK II 検定対策		実務授業の有無	×
担当講師	金 相範		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース/K-POPダンス&ヴォーカルコース

授業概要	TOPIKII検定試験に向けて、さらに上級に合格できるよう対策を行っていく。「聴き取り」、「作文」、「読解」全ての項目に対し、それぞれ過去問で頻繁に出題される語彙・文法を勉強していく。過去問のパターンと問題を分析し、それを理解・応用して問題が解けるよう学習していく。この授業の目標は、すでにTOPIKで2級以上獲得している受験者がさらにTOPIKIIIの検定試験で高得点を取り、上級の資格を持てるようにすることである。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①TOPIKIIの試験概要に対して説明を行う。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
2	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
3	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
4	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
5	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
6	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
7	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
8	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
9	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
10	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
11	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
12	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
13	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
14	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
15	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
16	①「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
17	①「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「読解」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
18	①「聴き取り」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。 ②「作文」の過去問のパターンを分析し、理解・応用し問題を解いていく。
19	最終試験の翌週に振り返りを行う。

教科書等	「한국어뱅크TOPIKII한권이면OK日本語翻訳版」を教科書として使用する。「TOPIK中級語彙30日でマスター」を毎週コピー・配布し覚えさせ頻繁に小テストを行う。必要に応じて追加のプリントと音声ファイルを配布する。
成績評価	課題レポート提出・小テスト50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブマーケティング I		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>コンサート・ライブビジネスの基本知識を学ぶ。アーティストマネジメント・音楽業界の仕組み・業界の仕事(職種)など、業界就職の目標となるべく業界知識を授業で習得する。音楽エンタテインメント業界のビジネスモデルを用いてマーケティングやSNS業界についても知識を学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	音楽ビジネスとは? 「音楽ビジネス」とは何をビジネスにしているかの知識を学ぶ。
2	1回目で学んだ知識について振り返り、テーマごとに更に掘り下げ。音源・実演・グッズ・ファンクラブ(サービス)
3	【音源】について。CD・配信・ストリーミングサービスの違い～音源に携わるスタッフとは? の知識を学ぶ。
4	GW明け。第1回～第3回までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。
5	【実演】について。コンサート・ライブ(実演)の運営・経費・携わるスタッフ・チケットシステムなどについて学ぶ。
6	【グッズ】について。グッズの仕事を知る。実際にグッズ制作を行なっている業者のサイトを使用。
7	【ファンクラブ(サービス)】について。ファンクラブ運営の仕事を知る。WEBとSNSなどを使用した展開について。
8	前段の授業で一通り通って来た仕事について、更にエンタテインメント業界の仕事をピックアップして掘り下げていく。プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
9	前期授業の振り返り、まとめと後期授業内容予定の説明。テスト
10	後期1回目。前期までの振り返り。今一度授業内容への動機付け。前期テストの振り返り。
11	①【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
12	②【エンタテインメント業界知識】プロダクション、コンサートプロモーター、レコード会社、音楽出版社、制作会社、ライブ・エンターテインメントEXPO関連企業から抜粋。
13	①【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
14	②【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
15	③【音楽ビジネスマーケティング知識】プロモーション・マーケティングについて。ライブ、グッズ、音楽サービスでのマーケットの仕組み。
16	①【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画(グループワーク)
17	②【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画・まとめ・資料制作(グループワーク)
18	③【音楽ビジネスマーケティング知識】からの企画の発表(グループワーク)。プレゼンテーション実施
19	【まとめ】グループワーク・プレゼンテーションへのフィードバック

教科書等	<p>オリコンコンフィデンス/マネジメントの実務/ヒットの崩壊/音楽業界金のバイブル/ 誰が音楽をタダにした 他</p>
成績評価	<p>課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライヴマーケティングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>1年次で学習、実習で学んだものを基に実践(企画・プレゼン)していく。 オリコンコンフィデンスの記事を基に、エンタテインメント業界人が語る事、研究事例をグループワークで分析し、自己なりの見解を発信する。 企画力・実践力・プレゼン力・発信力を学習する。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【1年次の振り返り】音楽エンタテインメント業界について。
2	2019年間マーケットレポートを読み解く。グループワークで分析～まとめ～見解発表
3	①【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
4	②【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
5	③【エンタテインメント・ビジネス2020 知っておきたい20のこと】グループワーク～見解発表
6	①【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画する。
7	②【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画する。
8	③【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画プレゼン・サマーレビューに向けて実践
9	④【Music Cityを作るための法則】新潟を音楽で元気にする為には？をイメージ、企画プレゼン・サマーレビューに向けて実践
10	⑤【Music Cityを作るための法則】振り返りとフィードバック
11	【配信ビジネスの可能性】配信ビジネス業界を研究する
12	【配信ビジネスでヒットしたアーティスト】「ヒット曲」軸「アーティスト」軸とは？
13	【音楽に必要不可欠！デジタルマーケティング】
14	①【ストリーミングを理解する】ストリーミング市場の音楽マーケティング研究する。グループワーク
15	②【ストリーミングを理解する】グループワークの発表とフィードバック。
16	①【ストリーミング時代のアジア音楽の未来・アナログとストリーミングの相性】グループワーク
17	②【ストリーミング時代のアジア音楽の未来・アナログとストリーミングの相性】グループワークの発表とフィードバック。
18	①【ライブ・エンタテインメントチケット問題について】グループワーク
19	②【ライブ・エンタテインメントチケット問題について】グループワークの発表とフィードバック。

教科書等	オリコンコンフィデンス/マネジメントの実務/ヒットの崩壊/音楽業界金のバイブル/誰が音楽をタダにした 他
成績評価	課題・グループワークレポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(プロモーター・有料会報誌編集長として勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	簡易PA実習		実務授業の有無	○
担当講師	野本 展希		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	<p>前期では簡易PA機材(YAMAHA STAGEPAS)をマスターし、小規模イベントでのPAが出来るようになることを目指す。後期ではさらに楽器の接続、ワイヤレスマイク、モニタースピーカー、デジタルミキサーなどさらに発展させた機材を使い、音響の知識・技術を深める。この授業を通じて学校内外での簡易的なイベントでPAが出来るようになることを目標とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション:音響・PAとは何か、音響機材の仕組みについて ケーブル巻き①、マイクスタンドの立て方
2	マイク、マイクスタンド、ケーブル、YAMAHA STAGEPAS 600i、スピーカースタンドを用意して音を出してみる
3	マイク・スピーカーの仕組み、ダイナミックマイクとコンデンサーマイク マイクスタンドの種類・立て方、ケーブル巻き②
4	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)① 基本編 (信号流れ、Mic Gain、Pad、Fader、Pan、ON、ST Master、PFL、AFL、Meter、Mono/ST、ヘッドホン、Amp内蔵)
5	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)② イコライザー・コンプレッサー編
6	アナログミキサーの使い方(YAMAHA EMX5014Cを使用して)③ エフェクト・AUX編
7	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った場合やり方、Mic/Line/Hi-Z、ダイレクトボックスとは
8	YAMAHA STAGEPAS 600iを使いLiveを想定したセッティング
9	YAMAHA STAGEPAS 600iを使った仕込み・撤収テスト
10	前期の復習:YAMAHA STAGE PAS 600iを使いLiveを想定したセッティング、ケーブル巻き
11	ケーブルの種類(コネクタ)について 電源について
12	YAMAHA STAGEPAS 600iで、カホン、ベースを用いた接続、音作り(DIを使う場合、使わない場合)
13	YAMAHA STAGEPAS 600iで、キーボード、アコースティックギターを用いた接続、音作り
14	ワイヤレスマイクのセッティング
15	モニタースピーカー(パワードスピーカー)を用意してカラオケ機を設置する
16	デジタルミキサー(YAMAHA 01V96)を使ったセッティング(YAMAHA 101Ⅲとマイクを使用)
17	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
18	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作
19	デジタルミキサー(01V96)とラックセット(CD/MD、G.EQ、P.Amp)とパッシブスピーカーでのPA操作テスト

教科書等	無し。
成績評価	<p>期末テスト結果:50%、授業態度および学習意欲50%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	<p>音響オペレーターとして【新潟 CLUB JUNK BOX】5年、【The PLANET】2年勤務</p> <p>ホール管理業務として【NKSコーポレーション】6年勤務</p> <p>舞台機構調整技能士2級 合格</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	動画配信基礎		実務授業の有無	○
担当講師	小林伸嘉		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	音楽ビジネスにおいて必須になったインターネット動画について学ぶ。 インターネット動画の概要など基礎的な知識の習得から動画業界の実情を学び、さらにスマホと一眼ムービーを実際に使った動画制作を実習形式で体験する。 広報やプロモーション業務において簡易な動画を自ら発信できる人材となることを目指す。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション/インターネットのおおまかな仕組みについて
2	インターネット動画の仕組みについて/配信サーバーとは・動画配信の仕組みとコーデック
3	YouTubeについて
4	インターネット動画ビジネスについて/音楽業界と動画配信のかかわり
5	インターネット動画と著作権・権利処理について
6	SNS時代におけるコミュニケーション/ビジュアルコミュニケーションとは・SNSの動画機能
7	スマホを使った撮影/カメラの構図や使い方
8	スマホを使った動画作成について①/スマホで撮影実習
9	スマホを使った動画作成について②/スマホで動画編集について
10	スマホを使った動画作成について③/YouTubeなどSNSへアップロード
11	音楽業界における動画の重要性/Music Video事例
12	動画クリエイターのトレンドについて/一眼ムービーとは
13	動画撮影実習① 学校内で撮影
14	動画撮影実習② 屋外で撮影
15	動画撮影実習③ 屋外で撮影
16	動画編集実習① 簡単な動画編集ソフトで編集する
17	動画編集実習② 簡単な動画編集ソフトで編集する
18	動画編集実習③ 簡単な動画編集ソフトで編集する
19	作品提出/YouTubeにアップロードする

教科書等	ライブ配信&収録の教科書 ビデオサロン
成績評価	課題提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	プライダルビデオ制作会社勤務8年 テレビ制作会社勤務7年 インターネット動画配信会社勤務3年 映像制作業起業 nobuyosicom(パンダスタジオ新潟)10年、SKYFINDER合同会社 経営3年

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習 I		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	Illustratorの基本操作を学び、HP、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。 検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Adobeソフトについて
2	②【基本操作】Illustrator、Photoshop等のデザインソフトについて
3	③【基本操作】Illustrator基本操作の実践
4	④【基本操作】Illustrator基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Illustrator基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Illustrator基本操作の実践・演習問題
10	①【デザイン】演習問題
11	②【デザイン】演習問題
12	③【デザイン】演習問題
13	④【デザイン】演習問題
14	①【デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	IllustratorクイックマスターCC・問題集
成績評価	演習問題理解度70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デザイン実習Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	永島 麻耶/田中 史歩		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	K-POPエンタテインメント科		対象コース	K-POPビジネスコース

授業概要	Photoshopの基本操作を学び、HP、写真加工の技術、フライヤーデザインなど実践的な操作を目標とする。検定取得に向けた演習問題の実施等。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	①【基本操作】Photoshopソフトについて
2	②【基本操作】Photoshop、Illustratorの組み合わせ方、実践の知識。
3	③【基本操作】Photoshop基本操作の実践
4	④【基本操作】Photoshop基本操作の実践
5	⑤【基本操作】Photoshop基本操作の実践
6	⑥【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
7	⑦【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
8	⑧【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
9	⑨【基本操作】Photoshop基本操作の実践・演習問題
10	①【加工、デザイン】演習問題
11	②【加工、デザイン】演習問題
12	③【加工、デザイン】演習問題
13	④【加工、デザイン】演習問題
14	①【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
15	②【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
16	③【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
17	④【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
18	⑤【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践
19	⑥【加工、デザイン】演習問題・検定用問題実践

教科書等	PhotoshopクイックマスターCC・問題集
成績評価	演習問題理解70%、授業態度および学習意欲30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	コンサートプロモーター 実務約10年【FOB企画】(有料会報誌編集長・コンサートプロモーターとして勤務) 販売店勤務 実務2年半【株式会社アミング】(接客・商品発注管理等) 飲食店勤務 実務2年(接客・調理・店舗管理責任者)